



NPO PTPL “ともいき” 便り No.22

■雨水（うすい） （2013年2月18日発行）

木蓮の芽がうきうきして

2月18日から3月4日までが雨水という節気。木の芽がふくらんできました。麻布山善福寺参道脇にある白木蓮^{もくれん}は、ちょっと気の早い木で、近くの桜や柳に先を越されまいと、毎年芽吹き^{もくれん}の先魁を演じるのです。持ち主の世話がよいのか。日当りのよさか。太陽の恵みを植物はだれよりも正直に感じて、今年もやがて白い艶やかな意匠を見せてくれるはず。春近し。楽しみです。

レスリング、フェアプレイで敗退？

2020年オリンピックからレスリングが正式競技から外されそうになり、日本人は慌てています。寝耳に水。とくに欧米で不人気の競技らしい。一節には、ロビー活動の不足が指摘されています。それ、何じゃ？ とぼくは情けなくなりました。ロビー活動。袖の下がモノをいいそうな人間関係づくりの活動でしょう？ 外交が下手な日本国はスポーツ分野でも、友人を作ることができなかつたのですか。袖の下は論外ですが、それが理由なら日本は立派ではありませんか。スポーツ精神を尊重したフェアプレイだったのです。マスコミは、スポーツ精神の本質を論じてほしい、とぼくは不満です。

東京オリンピックより大切なこと

それよりも、「2020年オリンピック大会を東京で」に、ぼくは強く疑問を感じています。東京直下型地震がいわれている中で、なによりも先に手を打たなければならぬのは、東京首都圏の安全化ではないでしょうか。

「立川断層」が活断層であると判明しました。タテ・ヨコにゆれる活断層だという。すると、東京直下型地震の被害はこれまでの予想を遥かに超えたものになるでしょう。この現実への対処がまるでできていません。

川や道路の上を走るあの高速道路、危険な上に醜悪です。無数の電柱、電線、変圧器。屋外看板。これらが倒壊、道を塞ぎ、火災発生。東京市街地は地獄と

なるでしょう。この対策こそ、緊急の政治と行政ではないでしょうか。

東京オリンピック大会は、その後で世界の選手や観客が安心して楽しめばよいと思うのです。いまは、世界から何十万人のお客さまを招ける東京ではない。大会中に地震に遭遇したら・・・、無責任な招致計画だと思います。

大会招致の辞退を提案します

東京都は2020年の大会招致を辞退するというメッセージを、堂々と発信してほしい。川の上、道路の上の危険で醜悪な高速道路はすべて深い地下に造り直して安全を確保すること。電柱、電線の類いもすべて地下の共同溝に移して危険物を排除すること。救援の車が通れるようにすること。阪神神戸淡路大地震の教訓を生かすこと。など、都市の基本インフラ整備こそ急務でしょう。

非効率で醜悪な景観から、「スマート東京」へ

ドブにしてしまった川を、元の川に戻したい。臭気がなく、ハゼやボラの子が釣れた川を呼び戻そう。あちこちに小緑地を造って防火と避難場所に役立て、普段は子どもたちの遊び場、高齢者の憩いの場にしよう。

ヨーロッパの都市が美しいのは、高速道路も電柱・電線も見えず、看板類も目にしないとう美の倫理が基本になっているからです。「スマート東京」にするには、まずこうしたインフラが先決でしょう。そのあとで行うオリンピック大会ならば、胸をはって東京は自慢できます。

人と人が共に安心して語り合え、人が自然に調和して美しい都市となる。そういう構想にこそ税金を投入してほしいのです。すでにオリンピック招致のために300億円の税金を使ってしまったと聞きます。もったいない話です。

世界の、日本を見る目が変わるでしょう

こうした計画を発表して今回は辞退。すると、世界の日本を見る目が変わるでしょう。敬意をもって評価し、その後の主催地はすんなり東京に決まるでしょう。都民の皆さん、都知事、首相、いまこそ、日本人の「心意気」を世界に示すチャンスです。オリンピックはその後が、好機です。

世界の人びとに耐震都市の手本を見ていただき、スポーツ競技を堪能していただく。日本への敬意、経済効果は計り知れません。

朝倉 勇 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

◎ともいき・ともうみ雑感彼是

“春節”、“ともいき”、そして“ともうみ”。

- 2月10日（日）は旧暦の元旦、中国では春節でした。中国で太陽暦（新暦）が採用されると、その1月1日が新年となりましたが、生活の中に深く溶け込んでいた、太陰太陽暦（旧暦）の正月はなくなりませんでした。元日は太陽暦（新暦）の1月1日の意味に用いられ、太陰太陽暦（旧暦）の1月1日を示す言葉が別に必要になり、新たに“春節”という言葉がつくられ使用されるようになりました。1949年に成立した中華人民共和国でも太陽暦による公暦を基本にしつつも、同時に太陰太陽暦も存続し、多くの伝統的民俗行事は太陰太陽暦によって行われ、現在にいたっています。

海外のニュース番組ではこの中国の“春節”を大々的に取り上げました。今年には the year of snake、そして old calendar (lunar calendar) によると、2月10日は“春節”と呼び、爆竹を鳴らし、花火を上げ、町中で春の訪れを祝って大騒ぎ、その様子を詳しく報道していました。

中国の隣国、我々の隣国、韓国、台湾、北朝鮮でも“春節”を祝っています。

日本では旧暦元日は特定のエリアだけで祝っています。例えば、横浜の中華街や神戸の南京町などが代表的です。

- NPO PTPL では新暦の1月1日は新年を迎える日として、そして旧暦の元日を春を迎え、寿ぐ日とし、これを“ともいきの日”と呼び、“ともいき”の価値観、生活観について考え、実践し、世界に“ともいき”の思想を発信していこうと以前から提唱しています。

“ともいき”とは“健康、食料、水、エネルギー、そして環境問題に関心を持ち、祖先と共に、人と共に、自然と共に、地域と共に、そして祖先と共に、結び合い、助け合い、支え合い、譲り合って生きるという 21 世紀を生きるに人々の新しい価値観であり、生活観であり、知恵です。”

- 日本でもこの旧暦1月1日を“ともいきの日”として復活させ、外交面で多くの問題のある東アジアの隣国、中国、韓国、台湾、北朝鮮で祝っている“春節”という伝統文化と民間交流することにより、隣国4国と政治、経済交流とは別の精神面、伝統面、生活文化面でのよりよい交流と連帯をつくりあげ、新しい何かを一緒になって“ともいうみ出す”ことができるのではないだろうか。

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

◎ともいき・ともうみ雑感彼は

先号より、理事長勝田祥三の「ともいき・ともうみ雑感彼は」がスタートしました。

ぜひ、お読みいただいたご意見、ご感想をお待ちしております。

◎facebook「ともいきぐらし」も順調に、「いいね！」ボタンを押していただく方が増えております。ぜひ、お知り合いの方々にご案内ください。

<http://www.facebook.com/tomoikigurashi>

また、みなさんからの facebook への投稿をお待ちしております。

事務局に文章、写真をお送りください。アップさせていただきます。

◎ 先号でもご案内しましたが、2月23日（土）に「東京二十四節気ウオーク2013」を開催します。当日の参加申込も可能です。ご参加をお待ちしています。概要は以下のとおりです。

- ・ 第1回「雨水」：テーマ・上巳の節句
- ・ 日程：2013年2月23日（土）
- ・ 受付時間：PM8：30～PM9：00
- ・ 集合場所：北区立大塚台公園（JR山手線大塚駅南口5分）
- ・ コース：大塚台公園～都電鬼子母神駅前～護国寺西～関口芭蕉庵～東京カテドラル聖マリア大聖堂～江戸川橋駅（※距離10Km 自由歩行）
- ・ 解散場所：椿山荘（メトロ有楽町線 江戸川橋駅 5分）

なお参加費は、一般700円、東京都ウオーキング協会会員は600円です。季節の移ろいを感じながら、健康にも良いウオーキングを、是非も楽しみください。

■お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒108-0073 東京都港区三田 2-21-11 パークハイム三田 103 号

電話：03-6436-0335 FAX：03-6436-0337 Email：info@plantatree.gr.jp